

研究科 /Graduate School	政策科学研究科
課程 /Program	博士課程前期課程
専攻・コース等 /Major, Course	政策科学専攻
入試方式 /Admission Method	一般日本語基準（国内）、社会人
試験科目 /Exam Subject	小論文
実施年月日（試験日） /Exam Date	2025年7月5日 2025年9月6日 2026年2月7日
解答又は解答例及び出題意図 Answer or example of answer Intent of the question （試験問題自体を公開しない場合はその理由） (Reasons for not publishing exam questions)	
<p>出題意図</p> <p>文章の重要なポイントを的確に要約し、論理的に自身の見解を書く能力があるかを確認する</p> <p>採点時の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章を的確に要約する能力があるか。 ・論理的に自身の見解を書く能力があるか。 	

研究科 /Graduate School	政策科学研究科
課程 /Program	博士課程後期課程
専攻・コース等 /Major, Course	政策科学専攻
入試方式 /Admission Method	一般入試（日本語基準：国内）
試験科目 /Exam Subject	英語
実施年月日（試験日） /Exam Date	2025年7月5日
解答又は解答例及び出題意図 Answer or example of answer Intent of the question （試験問題自体を公開しない場合はその理由） (Reasons for not publishing exam questions)	
<p>問題 A</p> <p>問 1 彼が指摘する発展途上国に内在する社会経済構造の重要な問題は、「市場・政府・共同体」の三要素の間における好循環のメカニズムである。</p> <p>問 2 「各ステークホルダー間の分断が進み、共同体としての機能が失われるため、社会経済構造の近代化が進まない。」の内容を含む。</p> <p>問 3 (1) an optimal social balance can be attained (2) each stakeholder is divided and the community function is reduced</p>	

研究科 /Graduate School	政策科学研究科
課程 /Program	博士課程後期課程
専攻・コース等 /Major, Course	政策科学専攻
入試方式 /Admission Method	一般入試（日本語基準：国内）
試験科目 /Exam Subject	英語
実施年月日（試験日） /Exam Date	2025年7月5日
解答又は解答例及び出題意図 Answer or example of answer Intent of the question （試験問題自体を公開しない場合はその理由） (Reasons for not publishing exam questions)	
<p>問題 B</p> <p>問 1. 下線部(a)の value と ethics の具体的な違いについて、本文の第 2 段落の例を用いて説明しなさい。</p> <p>本文の例においては、価値（value）とは時間を守ることであり、倫理（ethics）とは、時間を守るといふ価値を実際の行動の中で優先させる原則である。</p> <p>出題意図：英文学術書における学術的定義に基づいて、指示された実例を説明できるかを確認している。</p> <p>問 2. 下線部(b)を日本語に訳しなさい。</p> <p>自分の価値観の選択について立ち止まって考えてみると、あなたの日常の行動が、あることをするか別のことをするかという小さな選択の絶え間ない連続で成り立っていること、そして、そうした小さな選択に対して意思決定を行うプロセスには、あなたの行動がある一定の方向やパターンに沿って導く原則の適用が伴うことが分かるであろう。</p> <p>出題意図：適切に英文の意味を理解できるかを確認している。</p> <p>問 3. 下線部(c)より ethical reflection について説明されているが、ethical reflection のプロセスとは何か、本文に基づいて説明しなさい。</p> <p>倫理的省察（ethical reflection）のプロセスとは、「子どもともっと時間を過ごしたい」など、ただの理論的な概念だった価値観が、実際の行動を導く指針として現れ始める場である。つまり、「もっと関わる親になるべきだ」という抽象的な考えのままではなく、実際に週末に子どもと出かける計画を立て始めるなどの行動に移すということである。また、省察のプロセスは、以下の 2 つの側面に分けることができ、1 つ目の側面は、自身が持っている価値観が、本当に自分にとって「善い」「正しい」と心から思えるものであるかを考えることであり、2 つ目は、自分がその価値観をどのように、どれほど実際の行動</p>	

に表しているかを振り返ることである。

出題意図：指示された箇所が本文のどこにあるかを適切に見つけ、理解できているかを問うており、指定された用語の意味を正しく捉えているかどうかを確認している。

研究科 /Graduate School	政策科学研究科
課程 /Program	博士課程後期課程
専攻・コース等 /Major, Course	政策科学専攻
入試方式 /Admission Method	一般入試（日本語基準：国内）、社会人
試験科目 /Exam Subject	英語
実施年月日（試験日） /Exam Date	2026年2月7日
解答又は解答例及び出題意図 Answer or example of answer Intent of the question （試験問題自体を公開しない場合はその理由） (Reasons for not publishing exam questions)	
<p>問題 A</p> <p>問1 成功する BoP ベンチャーは、以下の4つのイノベーションのうち、1つまたは複数を採用しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 根本的なコスト削減の導入 2. 社会的な衝動とビジネススキルを両立させた BoP 中心の経営チームの構築 3. 製品およびサービスにおける人間中心のデザイン思考の実践 4. BoP コミュニティとの信頼関係の確立 <p>出題意図：適切に英文の構文や細かな表現を読み取り、翻訳する能力を確認している。</p> <p>問2 BoP 市場では、コスト削減には品質の犠牲が伴うと見なされがちですが、品質を犠牲にすることなくコストを下げることは可能です。</p> <p>出題意図：適切に英文の構文や細かな表現を読み取り、翻訳する能力を確認している。</p> <p>問3 アメリカの主要な眼科病院での年間手術件数が3,000件から5,000件であるのに対し、アービンド眼科病院では年間15万件以上に上ります。さらに、アメリカの一般的な眼科医が年間200件から300件の手術を行うのに対し、アービンドの眼科医は年間3,000件から5,000件の手術を実施しています。</p> <p>出題意図：適切に英文の大意や構文を読み取り、まとめる能力を確認している。</p>	

研究科 /Graduate School	政策科学研究科
課程 /Program	博士課程後期課程
専攻・コース等 /Major, Course	政策科学専攻
入試方式 /Admission Method	一般入試（日本語基準：国内）、社会人
試験科目 /Exam Subject	英語
実施年月日（試験日） /Exam Date	2026年2月7日
解答又は解答例及び出題意図 Answer or example of answer Intent of the question （試験問題自体を公開しない場合はその理由） (Reasons for not publishing exam questions)	
<p>問題 B</p> <p>問 1 A=④ B=① C=③ D=②</p> <p>出題意図：英語で記述された学術文献の内容について、大意を読み取り、議論の対象となっている政策課題について、その特徴に応じて適切に分類できる能力を確認している。</p> <p>問 2 青少年犯罪予防政策の形成過程（に携わる関係者）から、試行されている数多くの介入方略を体系的に評価することの必要性が、ますます強く唱えられている。</p> <p>出題意図：適切に英文の構文や細かな表現を読み取り、翻訳する能力を確認している。</p> <p>問 3 アルツハイマーなどで精神的に限界に達した人に対して、安楽死を認めるべきかどうか、また認めるならどのような条件で行うべきかという問題</p> <p>模範回答②：末期がんが痛みや臓器機能の崩壊を引き起こすこと、そしてその苦痛を安全に終わらせる方法が分かっているが、それを望むべきか、許容すべきか、どの条件で認めるべきかという問題</p> <p>出題意図：適切に英文の大意や構文を読み取り、まとめる能力を確認している。</p>	